

杉の花遺跡発掘調査の成果と劔神社



劔神社・座ヶ岳と杉の花遺跡

織田文化歴史館で特別展示を観覧しよう！

令和7年1月11日(土)～3月23日(日)の期間、織田文化歴史館で特別展示「杉の花遺跡発掘調査の成果と劔神社」を開きます。特別展示では、「杉の花遺跡」の調査記録や出土品の展示を行い、古代より繁栄した劔神社と神宮寺の様子を明らかにしていきます。ぜひ、この機会に悠久なる歴史に触れてみませんか？ みなさんのご来館をお待ちしています。

劔神社と神宮寺

越前二の宮・劔神社は約1800年の歴史を有し、古代より北陸を代表する神社として知られてきました。戦国大名の織田信長の先祖が神主を務めていたことは著名で、毎年多くの人が参拝に訪れています。劔神社には数多くの文化財が伝わり、特に奈良時代に制作された梵鐘は日本で3番目に古いものとして国宝に指定されていますが、この梵鐘の銘文より、8世紀後半には「劔御子寺」という神宮寺が建立されていたことが分かります。

また、中世になると「劔御子寺」は「織田寺」と名を変え、神仏習合のもと劔神社の官寺として発展していったことは、室町時代の「劔神社古絵図」にも描かれています。

そして、「杉の花遺跡」の発掘調査によって、これまで古文書や絵図に記されてこなかった時代の劔神社と織田寺の姿が明らかになりました。



礎石建物



出土した土師器皿

杉の花遺跡の発掘調査

劔神社境内からは、奈良時代より現代に至る「杉の花遺跡」が発見されており、町教育委員会では、平成22年(2010)より発掘調査を行ってきました。

特に、令和5年(2023)の劔神社社務所再建にかかる発掘調査は大規模なもので、奈良時代から室町時代を中心とする多くの遺物(土器や陶磁器など)や遺構(建物や祭祀などの痕跡)が発見されました。



地鎮遺構



発掘調査の様子



国宝 梵鐘(劔神社蔵)

問合せ先 織田文化歴史館 ☎ 36-22288